



2023年1月13日

各 位

会社名 株式会社インバウンドテック
代表者名 代表取締役 東間 大
社長執行役員
(コード番号: 7031 東証グロース)
問合せ先 取締役 C F O
専務執行役員 金子 将之
管理本部長
(TEL 03-6274-8400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,940	278	264	171	65.40
今回修正予想 (B)	3,250	370	365	234	89.49
増減額 (B - A)	310	92	101	63	
増減率 (%)	10.5	33.1	38.3	36.8	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	2,769	291	288	182	70.51

(注) 当社は、2022年10月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の実績及び2023年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

(2) 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想における売上高の修正につきましては、主に2022年5月13日の業績予想時点において短期で終了するものと見込んでいた新型コロナウイルス関連サポート業務が緩やかにシュリンクしつつも今期末まで継続する見通しとなったことに加え、マルチリンガルCRM事業における既存案件の拡大及び予想を上回る新規案件の受注があったことによるものです。一方、セールスアウトソーシング事業については主に下期におけ

る営業人材の育成及び活動が予定を下回ったこと、また、クライアント都合による既存の新電力獲得案件の終了などから当初予想との乖離が生じ未達となる予想ですが、マルチリンガル CRM 事業の拡大の寄与が大きく、全体の連結売上高においては上方修正の見通しとなりました。

利益の面でも従前のマルチリンガル CRM 事業の推移が全体を牽引する形となり、セールスアウトソーシング事業においても外注費の圧縮を始めとした徹底的なコストコントロールにより当初予想と遜色無い利益を確保することによって上方修正の見通しとなりました。なお、第4四半期については来期の成長を見据えて大阪コンタクトセンターの大規模拡張、人員の積極的な採用などの投資に加え、期末の従業員への業績手当の支給などを織り込んで業績予想を修正しております。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益のいずれも過去最高業績となる見通しです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、少なくとも2023年3月期末までは続くものと見込んでおり、業績への影響を勘案したうえで修正を行っております。

(注) 予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上